



BUZZMAFF 「となりの近畿」 ～黒枝豆を収穫～ (兵庫県丹波篠山市)

近畿農政局では、YouTubeを使って近畿管内2府4県の農林水産業に関する色々な情報をお知らせするチャンネル、BUZZMAFF「となりの近畿」を動画配信しています。

11月には、「丹波の黒枝豆を収穫してみた」という動画を配信しています。

丹波篠山市では「丹波黒」という品種の黒枝豆を栽培しており、美味しく味わえる時期を毎年指定しています(今年は10月5日解禁、11月末ごろまで)。この時期は、黒枝豆を求める多数の消費者が他府県からも丹波篠山市に訪れ、大変な賑わいとなります。

◆◆ 主な内容 ◆◆

【インフォメーション】

- ・「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第9回)及び近畿農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第6回)の選定結果

近畿農政局からのお知らせ

- ・統計情報 作物統計調査 令和4年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量(近畿)
- ・近畿農政局 食に関するWebセミナーを開催します!
- ・消費税のインボイス制度開始に関するWeb説明会を開催します

和歌山県拠点からのお知らせ

- ・「真妻わさび発祥の地」としてわさび田を復興し守っていきたい

公式SNS



←農林水産省公式Facebook、Twitter及びYouTubeは、近畿農政局ホームページからもアクセスできます。

新鮮mini情報のバックナンバーは、「近畿農政局 ミニ情報」で検索できます。

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」 （第9回）の選定結果

1.趣旨

農林水産省及び内閣官房は「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向けて、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国へ発信することとしています。

2.選定結果

令和4年11月7日(月曜日)に総理大臣官邸で開催された「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第9回選定)有識者懇談会において、第9回選定として37地区を選定(うち、近畿管内の選定は次の3地区)しました。また、優秀賞(ビジネス・イノベーション部門)に京都府伊根町 伊根浦地区農泊推進地区協議会が選定され、そのほかの地区には奨励賞が授与されます。

府県／市町村	地区名／氏名	部門
京都府伊根町	伊根浦地区農泊推進地区協議会	ビジネス・イノベーション
兵庫県三木市	東播用土地改良区	コミュニティ・地産地消
和歌山県有田川町	有田川町×龍谷大学	コミュニティ・地産地消

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/discover.html>

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」特設ホームページ(外部リンク)

<https://www.discovermuranotakara.com>

農林水産省HP



農山漁村(むら)の宝HP



近畿農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」 （第6回）の選定結果

1.趣旨

近畿農政局管内から応募のあった事例には、ディスカバー農山漁村(むら)の宝(第9回選定)となった取組以外にも優れた取組があることから、近畿独自の特徴ある優れた取組を近畿農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第6回)として選定し、広く発信することにより他地域への横展開を図るものです。

近畿農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」選定委員会を開催し、次の7地区及び1名を選定しました。

2.選定結果

府県／市町村	地区名／氏名	部門
滋賀県 守山市	びわこ板倉ファーム	ビジネス・イノベーション
京都府 京都市	株式会社アドブランツコーポレーション	ビジネス・イノベーション
兵庫県 川西市、加東市	プラスワングループ	ビジネス・イノベーション
兵庫県 香美町	兵庫県立香住高等学校 海洋科学科	ビジネス・イノベーション
奈良県 宇陀市	宇陀市古民家活用地域活性化協議会	ビジネス・イノベーション
和歌山県 田辺市	和歌山県立神島高等学校 商品開発プロジェクト「神島屋」	ビジネス・イノベーション
大阪府 河内長野市	NPO法人里山ひだまりファーム	コミュニティ・地産地消
奈良県 橿原市	谷尾 薫	個人

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/nousonshinkou/221107.html>



農政局からの お知らせ

統計情報

◆作物統計調査

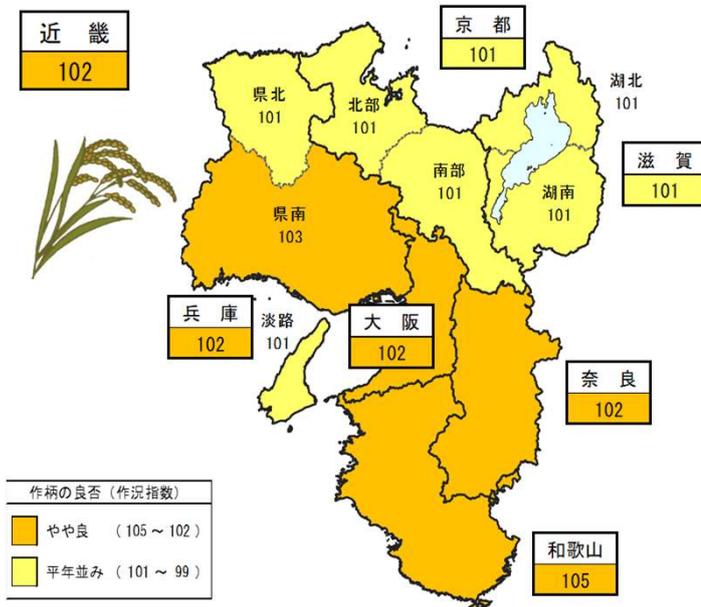
令和4年産水稻の作付面積及び10月25日現在の
予想収穫量（近畿）

ー近畿の作況指数は102（10a当たり予想収量517kg）
の見込みー

【調査結果の概要】

- 1 令和4年産水稻の作付面積（子実用）は9万6,400haで、前年産に比べ2,900ha減少しました。うち、主食用作付面積は9万2,800haとなりました。
- 2 10月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は517kgで、前年産に比べ14kgの増加が見込まれます。
- 3 予想収穫量（子実用）は49万8,400tで、前年産に比べ1,300tの減少が見込まれます。うち、主食用の予想収穫量は47万9,500tが見込まれます。
- 4 農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は102が見込まれます。

図 水稻の府県別・作柄表示地帯別
作況指数(10月25日現在)



詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/yotei/2022.html#1109>



◆近畿農政局 食に関するWebセミナーを開催します！

近畿農政局では、令和4年度食に関するWebセミナーを開催しています。

今回は、持続可能な食料システムの構築に向け、環境に配慮した農業や環境に配慮した農産物について理解を深めていただき、商品選択につながるよう環境に配慮した地方自治体の農産物認証制度についてご紹介します。参加費は無料です。皆様の参加申込みをお待ちしております。

- 1 開催日時等（募集人数：各日80名（先着順））
※定員になり次第、受付終了
 (1) 令和4年12月13日（火曜日）13時30分～15時
 申込期限：令和4年12月12日（月曜日）
 ・みどりの食料システム戦略について
 ・兵庫県認証（ひょうご食品認証制度）について
 (2) 令和4年12月20日（火曜日）13時30分～15時
 申込期限：令和4年12月19日（月曜日）
 ・みどりの食料システム戦略について
 ・滋賀県認証（環境こだわり農産物認証制度）について
- 2 開催場所 Web会議室（ZoomによるWeb開催）
- 3 参加対象者 食に関心のある消費者・消費者団体等
- 4 申込方法 以下のインターネットによる受付フォームにて、お申込みください。

<インターネットによる申込先URL>

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/syokusemina3.html>



◆消費税のインボイス制度開始に関するWeb説明会を開催します

近畿農政局では令和5年10月1日から導入されるインボイス制度に備え、近畿農政局管内の農業者、食品事業者及び関連団体等向けの制度説明会を下記の開催日程・開催方法で行います。

この制度説明会では、インボイス制度についての理解を深め、インボイス登録の要否について検討が出来るようにするとともに、登録する場合には事前準備をスムーズに進められるよう、大阪国税局から説明を行います。

説明会の参加申込みは、12月中旬ごろ開設予定の近畿農政局のホームページ内の申込フォームにて受け付けます。

- 1 開催日程（各回とも所要時間は1時間程度
説明内容は同じ。）
 ① 令和5年1月12日（木曜日） 10時30分開始
 ② 同 上 13時10分開始
 ③ 令和5年1月18日（水曜日） 10時30分開始
 ④ 同 上 13時10分開始
- 2 開催方法 Web方式（Webex使用）
- 3 問い合わせ先：近畿農政局企画調整室
徳田、瀧脇 TEL：075-414-9037

和歌山県拠点 からのお知らせ

◆「真妻わさび発祥の地」としてわさび田を復興し守っていききたい

和歌山県日高郡印南町川又（旧真妻）地区では、かつてわさび栽培が盛んに行われていましたが、昭和28年の紀州大水害でわさび田が壊滅的な被害を受け、また、その後の気候や環境の変化により、水量が減少するなどわさび栽培に適した場所が減少し、生産者も栽培面積も減少しています。

「真妻わさび振興協議会（以下、協議会という）」は、真妻わさび発祥の地を守り真妻ブランドを残そうと、平成20年からわさび田の復興に取り組んでいます。

わさび田の管理は、協議会のメンバーがそれぞれ空いた時間に行っていますが、毎月の定例日には揃って作業を行っているそうです。



【協議会のみなさん】

本日の作業には、協議会メンバー6人のほか、助っ人も来てくれました。

会長曰く、重労働の作業の時は、地元有志の助っ人がきてくれるとのこと。

（右から2番目が会長の森本松太郎さん）



【泥落とし】

このわさび田は谷水を引いているので泥が溜まりやすいそう。わさびが傷まないように泥落としをします。



【苗の定植】

わさびの苗を植えていきます。収穫できるまで約3年かかります。



【ゆずり葉の木】

←このゆずり葉の木は、昔から、下に続くわさび田の守り神と考えられているそうです。



飲食店等から「わさびを売って欲しい」という要望もありますが、まだまだ大口の需要に応えられる量を栽培できていないためお断りしているとのこと。

現在は3か所のわさび田で栽培していますが、栽培面積を増やすため、さらに2か所のわさび田の整備を進めています。

農林水産省近畿農政局

企画調整室	〒602-8054	京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町	TEL(075)451-9161	FAX(075)414-9060
滋賀県拠点	〒520-0044	大津市京町3-1-1 大津びわ湖合同庁舎6F	TEL(077)522-4261	FAX(077)523-1824
京都府拠点	〒602-8054	京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町	TEL(075)414-9015	FAX(075)414-9057
大阪府拠点	〒540-0008	大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎1号館6F	TEL(06)6943-9691	FAX(06)6943-9699
兵庫県拠点	〒650-0024	神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎4F	TEL(078)331-9941	FAX(078)331-5177
奈良県拠点	〒630-8113	奈良市法蓮町387 奈良第3地方合同庁舎	TEL(0742)32-1870	FAX(0742)36-2985
和歌山県拠点	〒640-8143	和歌山市二番丁3 和歌山地方合同庁舎	TEL(073)436-3831	FAX(073)436-0914